

BUSINESS REPORT

We Find the Way
 日本通運
NIPPON EXPRESS
証券コード No.9062

第113期 報告書 | 2018年4月1日~2019年3月31日



The Future in Logistics



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
第113期報告書をお届けするにあたり、
謹んでご挨拶申し上げます。

代表取締役社長

齋藤 充

当連結会計年度のわが国経済は、良好な企業収益に牽引され、緩やかな回復基調が継続しましたが、中国をはじめとした世界経済の減速や地政学リスクの高まりなど、景気の下押し要因が顕在化し、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済情勢のなか、国内貨物は、相次ぐ自然災害の影響等もあり、緩慢な荷動きとなりましたが、国際貨物は、自動車関連や電子部品を中心に需要が拡大した結果、総じて堅調に推移いたしました。

日通グループは、このような経営環境のもと、最終年度を迎えた3年間の経営計画「日通グループ経営計画2018―新・世界日通。―」の目標達成に向け、「エリア戦略」「機能戦略」の2つの重点戦略の遂行にグループ一丸となって取り組んでまいりました。

「エリア戦略」

- ・「日本」では、大都市圏を中心に、ワンストップ営業・アカウントマネジメントを推進し、グローバル企業との取引拡大に取り組むとともに、国内事業の強化に向け組織の再編をさらに進めてまいりました。
- ・「海外」では、引き続き南アジアを中心に経営資源の集中投下を行い、倉庫を中心としたネットワークの強化を図るとともに、欧州におけるハイファッションなど重点産業への取組みの拡大や、各地域における非日系企業への営業拡大を推進してまいりました。

「機能戦略」

- ・「営業力の徹底強化」では、ワンストップ営業・アカウントマネジメントを強力に推進し、既存顧客に対する事業領域を拡大するとともに、非日系企業を中心とした新たな取扱いの拡大を進めてまいりました。
- ・「コア事業の強化と高度化」では、フォーワーディング事業において、グローバル購買を一層推進するとともに、中国・欧州鉄道を利用したフォーワーディング商品の拡充にも取り組んでまいりました。また、ロジスティクス事業においては、倉庫オペレーションにおける先端技術の実用化に向けた取組みを推進し、事業の強化を図ってまいりました。

- ・「グループ経営の強化」では、グループ各社の強みを活かした産業別プラットフォームの構築に向けた取組みを推し進めてまいりました。
- ・「経営基盤の強靱化」では、ITの活用等による組織の集約と機能の強化を進めるとともに、RPAの導入を推進するなど、生産性の向上に取り組んでまいりました。
- ・「グループCSR経営の更なる強化」では、ダイバーシティ経営の推進や、長時間労働の削減など、働き方改革を積極的に進めてまいりました。

この結果、第113期連結経営成績につきましては、**連結売上高は2兆1,385億円**(前連結会計年度比7.2%増)、**営業利益は795億円**(前連結会計年度比13.3%増)、**経常利益は858億円**(前連結会計年度比15.3%増)、**親会社株主に帰属する当期純利益は493億円**(前連結会計年度比655.0%増)となりました。

今後の経済動向につきまして、海外経済は、中国経済の減速や各国の成長鈍化などを背景に、引き続き不確実性が高まるものと見込まれております。また、国内経済についても、不安定な海外経済の影響を受け、先行き不透明な状況で推移すると予測されております。

物流業界におきましては、生産年齢人口の減少にともなう労働力不足の問題や働き方改革への対応に加え、AIやIoTをはじめとした先端技術の活用など、業界全体で取り組むべき多くの課題に直面しております。

日通グループは、このような経営環境のもと、新たに5年間の経営計画「日通グループ経営計画2023～非連続な成長“Dynamic Growth”～」を策定し、2019年4月1日から、グループ丸となって取り組んでおります。

この新経営計画は、2037年に迎える創立100周年に向け、新たな長期ビジョンとして定めた日通グループの将来のありたい姿「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」の実現のため、これまでの取組みを継続・加速させる施策と、長期ビジョンの実現に向けて持続的に成長するために必要な施策をバックキャストで

考え、これらの組み合わせによって策定したものです。重点戦略としては以下のとおりとなります。

「事業の成長戦略」

- ・「コア事業の成長戦略」として、当社の強みである、生産・販売サプライチェーンを支える事業をコア事業として位置付け、顧客(産業)軸、事業軸、エリア軸の3つの軸によるアプローチを強力に推進し、日本を含む世界全体で収益性の向上に取り組んでまいります。
- ・「日本事業の強靱化戦略」として、経営の核となる日本事業の経営体質をより強靱なものにするため、日本の各事業における収益性の向上に徹底的にこだわり、「専門事業の収益性向上」、「営業・事務生産性の向上」、「低収益事業の抜本的改革」に取り組んでまいります。

「長期ビジョン実現のための取組み」

- ・「非連続な成長戦略」として、M&A戦略を明確化し、グローバル経営基盤の強化・拡充に向け取り組んでまいります。
- ・「取組みを支える機能の強化」として、IT戦略、R&D、人材戦略、広報戦略のイノベーションを通じて経営基盤の強化に取り組んでまいります。
- ・「持続的成長と企業価値向上のためのESG経営」として、安全・コンプライアンス・品質の徹底、社員が幸せを感じる企業への変革、CO₂排出量の削減にこだわり、持続的成長と企業価値向上に取り組んでまいります。

日通グループは、これらの重点戦略を確実に実行することで、「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」として、更なる成長と、より一層の企業価値向上を図り、株主の皆様のご期待にお応えする所存でございますので、引き続き株主の皆様のご理解とあたたかいご支援をお願い申し上げます。

2019年6月

グループとして初となる**売上高2兆円**を達成

売上高、各利益は期初計画を上回り**過去最高**を記録

国際貨物を中心に堅調な荷動きにより全セグメントで**増収**

売上高
2兆1,385億円
(前期比7.2%増)

営業利益
795億円
(前期比13.3%増)

親会社株主に帰属する当期純利益
493億円
(前期比655.0%増)

期末配当金
85.0円

売上高

(単位：億円)

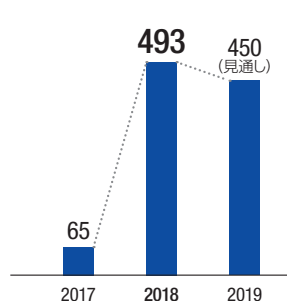
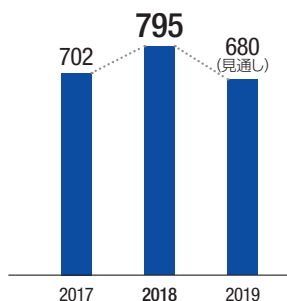
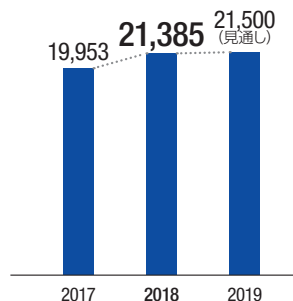
営業利益

(単位：億円)

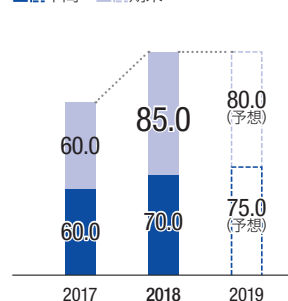
親会社株主に帰属する
当期純利益

(単位：億円)

1株当たり配当金※ (単位：円)



■ 中間 ■ 期末



※記載の配当金は、2017年10月1日付の株式会社併合(10株→1株)を考慮した金額で記載しております。

ロジスティクス **78.8%**

■売上高 **1兆6,849億円**
(前期比 6.7%増)

■営業利益 **692億円**
(前期比 16.4%増)

日本 58.8% 東アジア 5.7%
米州 4.6% 南アジア・
欧州 5.4% オセアニア 4.3%

物流サポート **22.6%**

■売上高 **4,839億円**
(前期比 9.2%増)

■営業利益 **127億円**
(前期比 9.0%増)

重量品建設 **2.2%**

■売上高 **477億円**
(前期比 0.3%増)

■営業利益 **45億円**
(前期比 11.3%増)

警備輸送 **3.4%**

■売上高 **726億円**
(前期比 0.9%増)

■営業利益 **12億円**
(前期比 41.9%減)



※当社は、2018年4月1日に実施した、警備輸送に関する組織改正にあわせて、2018年度より日本(ロジスティクス)セグメントの一部を、警備輸送セグメントに変更いたしました。これに伴い、2017年度(累計)の数値をセグメント変更後の数値に組み替え、前期比を計算しております。

日通グループ経営計画2023

～非連続な成長“Dynamic Growth”～

2019年4月1日～2024年3月31日

2019年4月からスタートした「日通グループ経営計画2023～非連続な成長“Dynamic Growth”～」は、2009年に策定した10年間の長期ビジョンの終わりにあたり、将来の日通グループのありたい姿として、2037年に迎える創立100周年に向けた新たな長期ビジョンを描くことを出発点に策定いたしました。

新たな長期ビジョンの第一歩となる新経営計画は、これまでの取組みにより効果が出始め、さらに加速させて継続的に取り組むべき施策と、長期ビジョンの実現に向けて持続的に成長するために必要な施策をバックキャストで考え、これらの組み合わせにより策定した5年間の計画です。

日通グループはこの経営計画を着実に実行することで、計画最終年度（2023年度）における売上高、2兆4,000億円などの経営目標を達成し、グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニーへと成長してまいります。

前中期経営計画

2016～2018 経営計画

布石

日通グループ経営計画 2018		
機能戦略	重点戦略	
	日本 の両立	海外 の両立
営業力の徹底強化	「成長性」と「収益性」の両立	海外 成長を牽引 日通グループの
コア事業の強化と高度化		
グループ経営の強化		
経営基盤の強靱化		
グループ CSR 経営の更なる強化		

日通グループ経営計画2023

2019～2023 経営計画	2024以降
事業の成長戦略	
コア事業の成長戦略	
日本事業の強靱化戦略	
長期ビジョン実現のための取組み	
非連続な成長戦略	
取組みを支える機能強化	
持続的成長と企業価値向上のためのESG経営の確立	

事業の成長戦略

コア事業の成長戦略

- 顧客(産業)軸、事業軸、エリア軸の3軸アプローチを強力に推進し、強みである「日本」で培った顧客基盤・事業をグローバルに成長させる。

日本事業の強靱化戦略

- 収益性の向上に徹底的にこだわり、強靱なグループ経営の基礎を固める。

長期ビジョン実現のための取組み

非連続な成長戦略

- M&Aを活用し、グローバル市場で存在感を持つメガフォワードへの非連続な成長を遂げる。

取組みを支える機能強化

- グローバルな企業グループとして、IT戦略、R&D、人材戦略、広報戦略のイノベーションに取り組む。

持続的成長と企業価値向上のためのESG経営の確立

- E(環境) 物流企業としてCO₂排出量削減にこだわる。
- S(社会) 社員が幸せを感じる企業に変革する。
- G(ガバナンス) 持続的な企業価値向上を支える仕組みを構築する。

長期ビジョンの実現

創立100周年に向けて(2037年ビジョン)

グローバル市場で存在感を持つ
ロジスティクスカンパニー

顧客・社会

持続可能な社会の実現に、
物流を通じて貢献する企業

株主

コーポレートガバナンスを確立し、
持続的成長を果たす企業

社員

多様な社員が、顧客や社会を支える
仕事に誇りを持ち、活躍する企業

変えるべき価値観

イノベーションによる新たな価値創造

変わらぬ価値観

安全・コンプライアンス・品質 We Find the Way

グループ企業理念

私たちの使命、それは社会発展の原動力であること
私たちの挑戦、それは物流から新たな価値を創ること
私たちの誇り、それは信頼される存在であること

日通グループ経営計画2023 経営目標

	2021年度中間目標	2023年度目標
売上高	2兆2,500億円	2兆4,000億円
営業利益	830億円	1,000億円
営業利益率	3.7%	4.2%
当期純利益	540億円	630億円
海外売上高	5,200億円	6,000億円
ROE	9%	10%
フォワーディング数量	海運100万TEU 航空120万t	海運130万TEU 航空140万t

日通が目指すこと①

世界展開

世界の国々や地域において、
物流を核としたサプライチェーンソリューションを提供し、
お客様のグローバル展開に貢献します。



新倉庫外観

 **インドネシア**

大型物流倉庫 「ブカシロジスティクスセンター」を竣工

NEXロジスティクスインドネシア株式会社は、2019年3月、ジャカルタ中心部に隣接するゴーベル工業団地に、「ブカシロジスティクスセンター」を竣工いたしました。

同施設は、日通グループの海外倉庫としては最大級の規模を有し、電機・電子、自動車、アパレル、医薬品などの各産業に対する物流だけではなく、日用雑貨や食品における販売物流にも幅広く対応することができます。

当社は、引き続き成長が期待される東南アジア、南アジア地域のロジスティクス機能の強化に努めてまいります。



中国からドイツ向けブロックトレイン、トライアル輸送を実施

当社は2018年12月、中国・西安からドイツ・デュイスブルグ向けに当社独自で1列車を編成するブロックトレイン(コンテナ専用列車)の試験運行を実施いたしました。

この試験運行は、当社が経済産業省より委託を受けている平成30年度「質の高いインフラの海外展開に向けた事業実施可能性調査事業(チャイナ・ランド・ブリッジの利活用推進に向けたハード・ソフト面の改善のための調査)」に基づく取組みの一環として行われたものです。

1編成で41本のコンテナを連ねた貨物専用列車が、西安駅からデュイスブルグ駅間を約15日間で運行いたしました。

この取組みの結果、2019年6月からは、中国の西安からドイツへのクロスボーダー輸送サービスの定期運行を開始いたしました。今後も鉄道の持つ大量輸送・定時輸送のメリットを活かし、中国欧州間の鉄道を利用した物流の推進を図ってまいります。



出発式典の様子



西安駅の専用列車



日本 新たな医薬品サプライネットワークを構築

医薬品業界では、日本国内において、医薬品の適正な流通基準(GDP)のガイドラインが発出され、医薬品物流においてもガイドラインに則った取扱いが求められより高度な品質管理が求められております。

この動きを踏まえ、当社では医薬品に特化した倉庫、車両、専門部隊の連携により、GDP対応をはじめ、保管・輸配送の共同化、拠点間のラウンド輸送など、医薬品産業のお客様各社にとって最適な医薬品サプライネットワークを新たに構築してまいります。

今後、従来からの原材料・製品の輸出入拠点であるメディカルハブ(成田、関空)に加え、東日本(久喜市)、西日本(寝屋川市)、九州(北九州市)、富山(富山市)に医薬品に特化した拠点を順次新設し、2020年12月までの稼働開始を目指してまいります。

拠点完成イメージ



世界日通。「医薬品」篇のCMIはYouTube日本通運公式チャンネルでも公開中です。▶詳細はP14へ



日通が目指すこと②

安全品質

「安心」を提供するために、さらなる品質の向上に取り組んでいます。



全国トラックドライバー・コンテストで内閣総理大臣賞を獲得

当社グループは、2018年10月27日・28日に開催された「第50回全国トラックドライバー・コンテスト」(主催：公益社団法人全日本トラック協会)に出場し、11名が優勝を含む上位入賞を果たしました。また、4t部門で優勝の樋口和孝選手が全部門を通じて総合で最高得点を挙げ、内閣総理大臣賞を受賞いたしました。

今後も、各競技大会への出場を通じて、安全作業の実践や技能の向上をより一層推進してまいります。



競技中の様子

引越作業コンテスト全国大会を開催

2018年11月、引越品質の向上を目指して、初の社内大会となる「引越作業コンテスト全国大会」を開催いたしました。

このコンテストは、お客様にご満足いただけるサービスに求められる知識や技能を競い合い、お客様目線に徹したさらなる作業品質の向上と均一化を図ることを目的として実施されました。

当社では、日頃から全国各地に設けられた研修センターで、梱包技術のスキルアップやマナーの教育など、引越作業スタッフの教育訓練を行い、引越作業のプロを育てております。今後も、社内大会を通して全社における作業品質の向上と均一化を図ることで、より高品質なサービスを提供し、お客様のニーズと信頼に応えてまいります。



実技競技の様子



日通が目指すこと③

先端技術

イノベーションを通じてお客様や社会への価値創造と社会課題の解決を目指します。



倉庫の出荷準備作業の自動化

当社は先端技術を活用した業務の省人化・省力化を推進しています。

物流の現場では、トラックドライバー不足が大きな問題として注目されていますが、倉庫内のフォークリフトオペレーターや構内作業員も不足が顕在化しており、倉庫業務における自動化技術を活用した省人化、省力化の推進は重要な課題です。

当社札幌支店の倉庫では、自動走行するフォークリフトおよび連携して稼働するオートレーサーを導入し、倉庫出荷準備作業の自動化に取り組んでいます。2019年上期より本格稼働する予定です。

完全自動化による省力化、働き方改革の推進に加え、作業の錯綜の解消および人と荷役機械の完全分離による安全な作業を実現します。

当社では、今後も物流の分野での新しい技術に対応したサービスの構築に取り組んでまいります。



無人、有人どちらでも使用可能なフォークリフト



自動フォークリフトと連携するオートレーサー

役員 (2019年6月27日現在)

取締役

代表取締役会長



渡邊 健二

代表取締役社長 社長執行役員



齋藤 充

最高経営責任者
経営戦略部門総括
経営戦略本部長

代表取締役副社長 副社長執行役員



石井 孝明

ビジネスソリューション部門総括



竹津 久雄

コーポレートソリューション部門総括
コーポレートサポート本部長
CSR本部長



秋田 進

日本事業部門総括
日本事業本部長
ネットワーク商品事業本部長
日本事業統括部担当

取締役 執行役員



増田 貴

経営企画部、
財務企画部担当

取締役



杉山 雅洋

(注) 杉山 雅洋、中山 慈夫および安岡 定子の各氏は、社外取締役であります。



中山 慈夫



安岡 定子

監査役

常勤監査役



鈴木 達也



神吉 正



林田 直也

(注) 神吉 正、野尻 俊明および青木 良夫の各氏は、社外監査役であります。

監査役



野尻 俊明



青木 良夫

執行役員

専務執行役員

池田 誠
近藤 晃
中村 栄一
堀切 智

常務執行役員

杉山 龍雄
植松 満
内田 敏朗
永井 裕

執行役員

宮脇 一郎
中川 真人
海野 茂
合屋 隆司

高橋 浩
杉山 千尋
有馬 重樹
関根 章好

浜島 和利
竹添 進二郎
山田 雅之
松本 元

長嶋 敦
藤代 正司
加藤 憲治
佐藤 謙

古江 忠博
田中 博之
大槻 秀史
赤間 立也

会社概要

会 社 名	日本通運株式会社	
本 社	〒105-8322 東京都港区東新橋一丁目9番3号 TEL: 03-6251-1111 https://www.nittsu.co.jp/	
設 立	1937年10月1日	
資 本 金	701億75百万円	
従 業 員 数	32,280名	
支 店	344支店	
連結子会社および 持分法適用会社	連結子会社	271社
	持分法適用会社	23社
事 業 内 容	貨物自動車運送事業 利用航空運送事業 船舶利用運送事業 内航海運業 鉄道利用運送事業 倉庫業 警備業 重量物の運搬、架設、設置および これに付随する事業 建設業 旅行業 通関業ほか	

株式の状況

株 式 数	発行可能株式総数	398,800,000 株
	発行済株式の総数	98,000,000 株
株 主 数	50,175名	

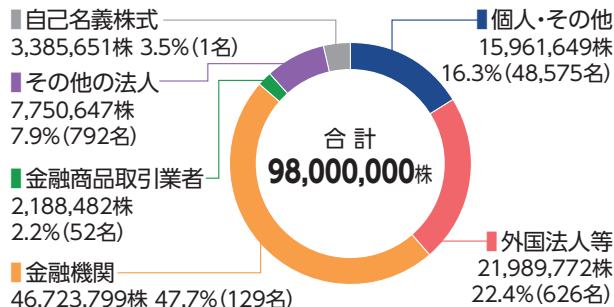
大株主

株 主 名	持株数 (株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	9,355,500	9.92
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	8,563,000	9.08
朝日生命保険相互会社	5,601,967	5.94
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	4,150,000	4.40
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,972,752	4.21

※ 持株比率は、自己株式3,385,651株を控除して計算しております。

所有者別株式の分布状況

〈株式数および比率〉



単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

買取請求 100株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却できる制度です。

(例) 60株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場価格で当社が買い取りいたします。



買増請求 100株(単元株式)に不足する数の株式を、当社から市場価格で買い増し、単元株にすることができる制度です。

(例) 60株を保有の場合、40株を買い増して、100株とすることができます。



各種お手続きのお申し出先

- ①証券会社口座にある株式 ▶ お取引先の証券会社
- ②特別口座にある株式 ▶ 三菱UFJ信託銀行
(※下記までお問い合わせください。)

東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式の諸手続きについては
当社ホームページでも
ご案内しております。

<https://www.nittsu.co.jp/ir/stock-info/procedure/>

日本通運 株式諸手続き

検索



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から
翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

単元株式数 100株

上場取引所 東京

証券コード 9062

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 ☎ 0120-232-711
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公 告 方 法 電子公告
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都内で発行される日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告掲載ホームページアドレス
<https://www.nittsu.co.jp/>

Nippon Express Channel

CORPORATION

事業内容やサービス紹介、最新ニュース、IR関連などの幅広い情報をタイムリーに発信しています。

<https://www.nittsu.co.jp/>



TVCM

放映中のTVCMやTV番組を通じて、当社が展開している様々な取組みを多くの方々にお伝えしています。

<https://www.nittsu.co.jp/corporate/cm/>



We Find the Way[原英莉花プロ]篇

今年当社と所属契約を結んだ女子プロゴルフの原英莉花選手に出演いただいています。

世界を舞台に挑戦するその姿を通じ、当社の企業メッセージ[We Find the Way]の理念を象徴的に表現しています。

SPORTS

当社は、部活動を通して、様々なスポーツの普及、振興、国際化に努めております。

<https://www.nittsu.co.jp/sports/>



世界日通。「医薬品」篇

現在放送中のCM、世界日通。「医薬品」篇は、海外で開発された薬が患者の手に届くまでのストーリーの中で、当社の温度管理輸送や医薬品に特化した先進的な輸送を紹介しております。

Youtube公式チャンネル

TVCMや企業活動、歴史など当社にまつわる情報を映像でご覧いただけます。
<https://www.youtube.com/channel/UCatNmOs5hJzVWMfofQeUnaQ>





世界日通。

ともに前へ、ともに世界へ！

日本通運は侍ジャパンを応援しています。

© 2018 SAMURAI JAPAN

We Find the Way
日通 **日本通運**
NIPPON EXPRESS

〒105-8322 東京都港区東新橋一丁目9番3号
TEL: 03-6251-1111
URL: <https://www.nittsu.co.jp/>



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。